



## クラスの様子【10月号】



### ひよこ・りすぐみ 今月の目標

『自然に触れながら散歩をしたり運動遊びを通して身体づくりをする。』

9月から年長児のお兄さんお姉さんがお手伝い保育に来てくれています。食事前の手洗いや着替えのお手伝い、一緒に遊んでくれたりお片付けをしたりと、頼もしいライオン組さんが来てくれてひよこ・りす組のお友だちもとっても嬉しそうです。ある日、年長児のお兄さんがブロックでロケットを作ってくれました。そのロケットを、大事にりす組の子が持っていましたがお友だちに取られてしまい、保育士でなくロケットを作ってくれた年長児の男の子に泣いて助けを求めに行く姿がありました。年長児の男の子は相手の子に「勝手にとったらあかんよ。欲しい時は貸して？って言わなあかんよ」と優しく声を掛けてくれていました。こうして小さい子に頼られる事で年長児も誰かの役に立てた事を嬉しく感じ、又保育士に「ありがとう。今日も上手にお手伝いできたな〜」と褒められる事で自信や成長につながっていくように感じました。現在ひよこ5名、りす組20名のクラスで、月齢も発達も大きく異なるお友だちと生活をしています。まだまだ小さいりす組の子ですが、保育士がひよこ組の子にミルクを飲ませていると「赤ちゃんミルク？」と哺乳瓶に手を添えたり頭をなでてくれたりと、自分より小さい子にお世話をしたい気持ちが芽生えたりと関心を持つようになりました。又園で最年少のひよこ組の子は、ブロックをカゴに入れるお片付けをりす組の子がしていると、よちよちと歩きながら、お兄さんお姉さんの真似をしてお片付けをし、日々の生活の中で色々な事を学んでいます。これからも異年齢での関わりの中で、子ども達が沢山の刺激を受けていって欲しいと思います。(坂)



### うさぎぐみ 今月の目標

『いろいろな運動遊びを行い、身体を動かすことを楽しむ。』

先月は保育参加や中学生の職場体験、年長児によるお手伝い保育など、様々な人と関わりながら過ごす機会が多くありました。保育参加では会を重ねるごとにどのようなものなのかが分かり、お家の人が来てくれるのを楽しみにしたり、当日は嬉しそうに一緒に過ごす姿が見られました。またいつも顔を合わせていたお友達のお母さん(お父さん)に甘えたり、絵本を読んでもらったり、話しかけてみたりとゆったりと関わってもらい、心地よい時間を過ごしている様でした。職場体験では5人のお兄さん・お姉さんと3日間一緒に過ごしました。初めは距離感を保ちながら関わろうとする様子も伺えましたが、しばらくすると膝に乗せてもらったり抱っこしてもらったりと、すぐに打ち解けて仲良く遊ぶ様子が見られました。また、お手伝い保育ではらいおん組さんに手遊びをしてもらったり、一緒に遊びながら給食後の時間まで過ごしました。このように多くの人と過ごし、子どもたちにとっていつもとは違う顔ぶれ、メンバーで過ごす事が良い気分転換や刺激になったのではないかと思います。また、立場や年齢の異なる様々な人と交わる事が、人と関わる力にも繋がっていくものだと思います。保育参加に多数ご参加頂き、ありがとうございました。(キム)



### 以上児 今月の目標

『秋の気候や自然を感じながら、身体を動かして遊ぶことの楽しさや心地良さを味わう。』

9月も終わりに近づくとともに過ごしやすくなり、子どもたちの元気の姿が、園庭に見られるようになってきました。9月の初めには、年長児が楽しみにしてきた、お泊まり保育がありました。“楽しみ”を原動力に取り組み、“特別感”を味わいながら、貴重な経験となったと思います。また年長児が行事等でいないときには、年中児が「つぎは〇〇するわ!」と、日頃、年長児がしている“お当番”を頑張っていました。年長児に負けないうらいにお当番のお仕事をする姿を見て、年少児も、真似をしており、毎日の生活の中での、『見て・真似て・学ぶ』ということの大切さと、子どもたちの育っていく力を感じました。今月から、“お手伝い”も、お当番の一つとしてスタートしました。0・1・2歳児クラスの子どもたちお部屋でのお手伝いとなり、小さいクラスの子どもたちとの関わりは、こくらぐみでの異年齢の生活とはまた違う経験となるかと思っています。楽しみにしている子もいますが、新しいことに取り組む事に慎重になる子もいるかと思っていますので、お当番の仕事をやり遂げる事で、自信にも繋がっていくように、思いに寄り添いながら経験していければと考えています。10月に入り、自然の移り変わりや戸外での活動が楽しみな季節となってきました。体調に気を付けながら、子どもたちと楽しんでいきたいと思っています。(伊達)

